

発言No.

13

受付No.

16

令和6年8月22日

(10時 17分 受付)

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 石見神楽を創り出したまち浜田について

(1) 石見神楽伝承内容検討専門委員会の中間報告について

5月24日に設置した石見神楽伝承内容検討専門委員会は、第2回、第3回と学識経験者、神楽団体、神楽産業、情報発信関係や教育関係者14名で、テーマ「何を保存・伝承すべきか」をグループワーク形式で検討されてきた。これから意見集約され10月30日には提言書の最終調整をして、市長・教育長に提言書を提出するとなっている。一方、石見神楽振興議員連盟には検討専門委員会の報告や意見交換会が行われてきた。これまで検討専門委員会を傍聴し、関係者から出た意見を踏まえ深掘りするため何点か質問する。

①「夜明かし舞」の復活について伺う。今や各神社、各会場で舞う石見神楽は受けの良い演目だけをピックアップして、時間内に納める演舞が多いと感じる。それはそれとして認めるが、多くの演目を舞うことができる「夜明かし舞」の復活は、儀式舞（全演目に通じる基本動作）もできる環境となり、奉納神楽文化を伝承する上で大事な取組みであると思っている。市全体や各神社など「夜明かし舞」ができる環境をつくっていくべきだと思うが、所見を伺う。

②石見神楽の花を打つ（ご祝儀）文化の取組について伺う。花を打つ文化は、神楽団体やお宮が維持するために使うものであり神楽の御花は特別なものであると思う。市長は花を打つ文化をどう捉えているのか伺う。

③神楽社中の後継者問題と地区まちづくりに通じる取組について伺う。後継者不足は大きな問題で子供神楽の指導はしておられるが、後継者育成に追いついていない実情があるとのこと。そんな中、上府町のまちづくり委員会では後継者不足も含め町内で上府神楽社中を盛り上げ、地域力を上げる一石二鳥の取組をしているとお聞きするが、この取組について関係部署の所見を伺う。

- ④思わず買いたくなるお土産品について伺う。石見神楽を創り出したまち浜田としては、神楽関係のお土産品が依然として少ない。特に、どじょう掬い饅頭や因幡の白ウサギに代表されるような見た目でインパクトがある形状は、山陰各地でもかなり売れているお土産品だと思う。夢グループのように、売れるものをまねして売るのも商売であるので、鍾馗や鬼の面など形状はインパクトがあり恰好の土産品になると思うので是非とも商品化すべきである。関係機関に働きかけていくべきだと思うが所見を伺う。
- ⑤浜田ふるさと祭唄について伺う。浜田市のPR大使、浜田市出身の山崎ていじさんが浜田のために特別に作っていただいた「浜田ふるさと祭唄」があるが、リリースされて以来、観光施設やイベント会場でほとんど流されていない。1番（はまっ子春祭り）2番（ツツジ花祭り）3番（漁港・日本海）で4番は（石見神楽は日本一）。絶好のPRソングであるが、なぜ多くの場所で流さないのか、流されていないのか残念でならない。市長の所見を伺う。

2 介護人材の確保対策について

介護人材の確保は市内の事業所も大変苦慮されていると聞いている。人材確保は人数だけではなくて若い人が少なく、高齢化が進んでいる状況ではないだろうか。

関係者に聞くと入所系の介護職員の配置基準は今のところまだまだまかなえたと聞いているが、パートなど高齢者を雇って何とかやりくりをしているのが現状である。

介護職は仕事の割には賃金も低いし待遇も良くなく、募集しても人が集まらない状況が依然として続いており、このままでは安定した介護等福祉サービスの提供ができなくなる恐れがある。

（1）エッセンシャルワーカーの育成支援について

- ①行政の福祉人材確保は極めて重要であると感じているが、本市が行うべき福祉人材育成・確保について伺う。

（2）特定技能制度を使った外国人介護職員の受入れについて

- ①これからは介護施設や障害者施設など、特定技能制度を使って外国人人材を積極的に雇用するよう舵をきっていかないと、浜田の介護施設がやれなくなると現場サイドは危機感を持っている。行政側は現場の状況をきちんと把握するために現場の声を聞く場を設けているのか伺う。

（3）人材確保に対する補助制度（日本人・外国人）について

- ①特に外国人介護職員を雇う場合はある程度ハードルがあると思うが、実際外国人を雇っている旭町の旭園での雇用の状況や補助制度はどうか伺う。

3 マイナンバーカード（マイナカード）について

日本の 5 月末時点でのマイナカード保有率は 73.8%で、保有はあくまでも任意であるとしている。政府はより一層普及させるため今後、携帯電話の契約は詐欺グループの携帯電話悪用を防ぐため契約時の本人確認にマイナカードに搭載された IC チップの読み取りを義務付けるとしている。また、保険証は 12 月 2 日で現行の保険証を廃止してマイナ保険証に切り替えるとしているが、持っていない約 3 割の人の対応など、まだいくつかの問題点があると思い質問をする。

- ①直近の浜田市のマイナカードの保有率と IC チップにはどのような情報がはいっているのか伺う。
- ②マイナカード IC チップの不正行為対策のセキュリティはどうか伺う。
- ③廃止になる紙の保険証しか持っていない人の対応を伺う。
- ④マイナ保険証で一元管理され、医療機関、薬局、患者本人が閲覧できる医療データはどのような内容が入っているのか伺う。
- ⑤2023 年度から 2024 年度でカード普及率の高い自治体ほど地方交付税を積み増しとしているが、浜田市は場合、全国平均より普及率が高いと報告を受けている。地方交付税の積み増しはいくらあったのか伺う。